

2022年4月21日  
日本銀行長崎支店



Bank of Japan Nagasaki Branch

## 長崎県の金融経済概況

(2022年4月公表分)

### 【概況】

長崎県の景気は、感染症の影響による厳しさが残る中、持ち直しのペースが鈍化した状況が続いている。

最終需要面をみると、個人消費は、飲食を中心に弱さが残り、全体として持ち直しのペースが鈍化した状況が続いている。観光は、依然として低い水準ながらも、改善している。住宅投資は持ち直している。公共投資は高水準で推移している。設備投資は、大型案件が寄与して増加している。

生産は緩やかな増加基調にある。企業の業況感是非製造業を中心に悪化している。雇用・所得環境をみると、労働需給は改善の動きに広がりが見られる一方、雇用者所得は弱い動きが続いている。消費者物価指数は前年を上回った。

先行きについては、感染症の動向のほか、エネルギー価格・原材料コストの上昇、供給制約、ウクライナ情勢等が、企業収益や個人消費に及ぼす影響を注視していく必要がある。

#### 【本件に関する問い合わせ先】

日本銀行長崎支店総務課

850-8645 長崎市炉粕町32番地

TEL : 095-820-6110 FAX : 095-820-0299

本資料は当店ホームページ (<http://www3.boj.or.jp/nagasaki/>) にも掲載しています。



## 1. 需要項目別動向

個人消費は、飲食を中心に弱さが残り、全体として持ち直しのペースが鈍化した状況が続いている。財消費は堅調に推移している一方、サービス消費は幾分改善しているものの、依然として厳しい状況が続いている。

2月の商業動態統計は、前年並みとなった。3月の乗用車新車登録台数は、前年を下回った。

観光は、依然として低い水準ながらも、改善している。

2月の主要ホテル・旅館宿泊者数、主要観光施設入場者数は、前年を上回った。

住宅投資は、持ち直している。

2月の新設住宅着工戸数は、前年を上回った。

公共投資は、高水準で推移している。

3月の公共工事請負金額は、前年を上回った。

設備投資は、大型案件が寄与して増加している。

2022年度の設備投資（2022年3月短観）は、前年度を上回る計画となっている。

2月の建築物着工床面積は、前年を上回った。

## 2. 生産

生産は、緩やかな増加基調にある。

主要業種別にみると、電子部品・デバイスは増加基調にある。機械・重電（原動機、大・中型モーター、冷熱機器）は、減少が続いている。大手・中堅造船は、横ばい圏内で推移している。中小造船は、更新需要等を背景に高操業が続いている。

### 3. 雇用・所得

雇用・所得環境をみると、労働需給は改善の動きに広がりが見られる一方、雇用者所得は弱い動きが続いている。

2月の有効求人倍率は、1.21倍となった。1月の雇用者所得は、前年を下回った。

### 4. 物価

2月の消費者物価指数（生鮮食品を除く総合、長崎市）は、前年を上回った。

### 5. 金融

2月の総預金および貸出金は、いずれも前年を上回った。

### 6. 企業倒産

3月の県内企業倒産（負債総額10百万円以上）は、件数、負債総額ともに前年を上回った。

〈 景気判断の比較 〉

	前回 (2022年3月公表分)	今回 (2022年4月公表分)
景気全体 (据え置き)	感染症の影響から、持ち直しのペースが鈍化している。	<u>感染症の影響による厳しさが残る中、持ち直しのペースが鈍化した状況が続いている。</u>
個人消費 (据え置き)	持ち直しのペースが鈍化している。	<u>飲食を中心に弱さが残り、全体として持ち直しのペースが鈍化した状況が続いている。</u>
観光 (引き上げ) (4か月ぶり)	落ち込んだ状態となっている。	<u>依然として低い水準ながらも、改善している。</u>
住宅投資 (据え置き)	持ち直している。	持ち直している。
公共投資 (据え置き)	高水準で推移している。	高水準で推移している。
設備投資 (据え置き)	大型案件が寄与して増加している。	大型案件が寄与して増加している。
生産 (据え置き)	緩やかな増加基調にある。	緩やかな増加基調にある。
雇用・所得 (据え置き)	労働需給は改善の動きがみられる一方、雇用者所得は弱い動きが続いている。	労働需給は改善の動きに <u>拡がり</u> がみられる一方、雇用者所得は弱い動きが続いている。

(注) 下線は、前回からの変更・追加。